

旧竹田家はなれ改修工事

4大都市における街道沿いの町並みとして初めて、2016年7月に重要伝統的建造物群保存地区(重伝建)に選定された名古屋市緑区有松の地で、空き家となっていた築約170年の古民家を、『なごや歴史的建造物保存活用工事助成(クラウドファンディング活用型)』を利用して、有松絞りのライブラリカフェに保存活用しました。

クラウドファンディングでは、『江戸時代からの町並みが残る重伝建の有松に築100年の空き家をカフェに再生します!』と題して、2016年10月に開始。有松絞りのネクタイや手拭等の物質的・金銭的価値のリターン品と豪華な絞りの着物を着用して写真撮影等の体験的価値のリターン品で、30日間に205人の方々々がパトロンとなってくださり、目標額の500万円を達成しました。旧竹田家はなれは、名古屋市指定有形文化財の竹田家住宅(竹田嘉兵衛商店:有松絞りの着物を扱う呉服店)に隣接した古民家で、以前は6代目の嘉兵衛氏が隠居部屋として使用されていましたが、空き家になっていました。当初、大正期の建物とされていました。改装工事を進める中で『弘化三(1846)年』と書かれた畳の裏板も見つかり、有松絞りの開祖竹田庄九郎邸の一部である事が判明しました。照明は、素材提供を有松絞りで有名な久野染工場で、制作を名古屋工業大学夏目欣昇研究室の学生で、そして監修を山口ゆずみで、有松絞りの素敵な照明になりました。

現在は、『カフェ&バル庄九郎』として営業しており、有松観光の新名所、そしてまちづくりの拠点として大きな役割を果たしています。

文化庁のHP

http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunkazai/shokai/hozonchiku/pdf/r1392257_047.pdf

なごや歴まちネットのHP

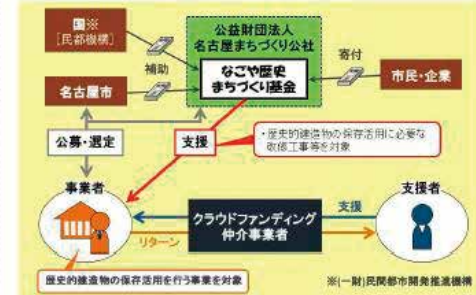
<http://www.nagoya-rekimachinet.jp/index.html>

旧竹田家はなれの改修工事(伝統的な建物の活用)

民間事業者が「なごや歴史的建造物保存活用工事助成(クラウドファンディング活用型)」を用いて空き家となっていた古民家の改修工事を実施。有松絞りのライブラリーカフェとして活用されている。



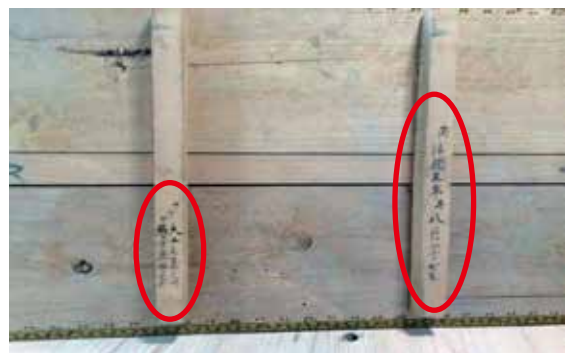
《なごや歴史的建造物保存活用工事助成》
クラウドファンディングにより資金調達して歴史的建造物の保存活用を行う事業に対して助成を実施。



文化庁のHPより



クラウドファンディング最終画面



床の間の畳の裏から、「弘化3年」と「大工と畳屋の名前」が見つかる

改修前



改修後



洗面台は七代目奥様のお嫁入り道具の輪島塗の鏡台を使用



やまぐちゆずみ
山口 ゆずみ

専攻建築士・ヘリテージマネージャー 他
中部デザイン協会 理事
(有)ヒットプロジェクト 取締役
NPO法人コンソーシアム有松 事務局長
岐阜県環境影響評価審査会委員

〔略歴〕 名古屋市生まれ。金城学院大学家政学部卒。大手総合商社に入社後、名古屋市の外部団体への出向を経て、ヒットプロジェクトを設立。金城学院大学・名古屋経済大学 元非常勤講師。代表作:愛知芸術文化センター・JRセントラルタワーズ・サカエチカクリスタル広場トイレ 等。